



2019年3月15日

各 位

会 社 名 アグレ都市デザイン株式会社
代表者名 代表取締役社長 大林 竜一
(コード番号: 3467 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役経営管理部長 柿原 宏之
(TEL. 0422-27-2177)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2018年5月7日に公表いたしました2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の業績予想及び同年8月6日に公表いたしました配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2019年3月期業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 16,882	百万円 929	百万円 743	百万円 513	円 銭 90.20
今回修正予想(B)	15,727	553	359	240	42.30
増減額(B-A)	△1,155	△375	△383	△272	
増減率(%)	△6.8	△40.4	△51.6	△53.1	
(ご参考)前 期 実 績 (2018年3月期)	14,421	818	686	471	83.00

(注) 当社は、2018年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前期実績における1株当たり当期純利益については、2018年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 業績予想の修正理由

売上高につきましては、当社の主力事業である戸建販売事業において、景気の先行き不透明感に起因する消費マインドの低下により、特に第4四半期の販売棟数が計画に比して大きく減少いたしました。

また、戸建事業用地の価格高騰に起因した原価率の上昇及び完成在庫の早期販売のため価格改定や値引販売を実施したことにより、売上総利益率が低下いたしました。

売上高の減少及び売上総利益率の低下を受け、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、利益面の減少を補う抜本的な改善にはいたらず、誠に遺憾ではございますが、営業利益、経常利益及び当期純利益をそれぞれ上記のとおり修正いたします。

3. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2018年8月6日公表)	円 銭 0.00	円 銭 30.00 (普通配当 27.00) (記念配当 3.00)	円 銭 30.00 (普通配当 27.00) (記念配当 3.00)
今 回 修 正 予 想		20.00 (普通配当 17.00) (記念配当 3.00)	20.00 (普通配当 17.00) (記念配当 3.00)
当 期 実 績	0.00		
前 期 実 績 (2018年3月期)	0.00	27.50 (普通配当 25.00) (記念配当 2.50)	27.50 (普通配当 25.00) (記念配当 2.50)

(注) 1. 2018年8月6日公表の記念配当は、東京証券取引所市場第二部から同取引所市場第一部銘柄への指定に関する記念配当であります。

2. 前期実績の記念配当は、東京証券取引所 J A S D A Q (スタンダード) から同取引所市場第二部への市場変更に関する記念配当であります。

4. 配当予想の修正理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要政策のひとつとして認識しており、現在及び今後の事業収益をベースに、将来の事業展開に必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。

しかしながら、上記1. 2. に記載のとおり、2019年3月期業績が当初計画を大きく下回る予想となること、また、不動産市況などの事業環境の先行きが不透明であることを踏まえ、誠に遺憾ではございますが、1株当たりの期末配当予想を当初予定しておりました30円(普通配当27円、記念配当3円)から20円(普通配当17円、記念配当3円)へと修正することといたしました。

なお、本件につきましては、2019年6月下旬開催予定の第10回定時株主総会に付議する予定であります。

(注) 上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上